

SUNNY SIDE UP GROUP

株式会社サニーサイドアップグループ

2023年6月期第3四半期 連結決算補足説明資料

2023年6月期第3四半期 連結決算ハイライト

(2022年7月1日～2023年3月31日)

累計売上高
前年同期比
+15.8%

累計営業利益
前年同期比
+34.6%

営業利益率
前年同期 6.9%
→ **8.0%**

営業利益
通期計画進捗率
超過

- ✓ 売上高・営業利益ともに過去最高を更新。増収効果に加えて、前期の改革効果も寄与。
- ✓ 中長期目標とする営業利益率(10-12%)の実現に向けて、収益力は着実に向上。
- ✓ 営業利益以下の段階利益で従来見通しを超過、上方修正と増配を発表。

2023年6月期第3四半期 連結業績

(2022年7月1日～2023年3月31日)

(単位：100万円)

	2021年6月期 3Q累計	2022年6月期 3Q累計*	2023年6月期 3Q累計	対前年同期 増減率	2023年6月期 通期 業績予想**	進捗率
売上高	10,694	12,099	14,007	+15.8%	16,500	84.9%
営業利益	433	832	1,120	+34.6%	1,000	超過
経常利益	501	1,339	1,158	△13.5%	1,020	超過
親会社株主に帰属する 四半期純利益	325	792	673	△15.0%	640	超過

*収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しており、従来の方法と比べて、売上高は1,457百万円減少しております。 **2022年8月15日公表。

- ✓ 3Q累計売上高・営業利益は二桁伸長、過去最高を更新。
- ✓ 経常利益以下は減益。前期に発生した一時的な営業外収益の反動減が影響。
- ✓ 各段階利益は通期予想を超過。セールスアクティベーション事業を中心に売上は順調に進捗、増収効果寄与。前提条件としていたフードブランディング事業の損失解消も進む。

2023年6月期 通期業績予想

(2022年7月1日～2023年6月30日)

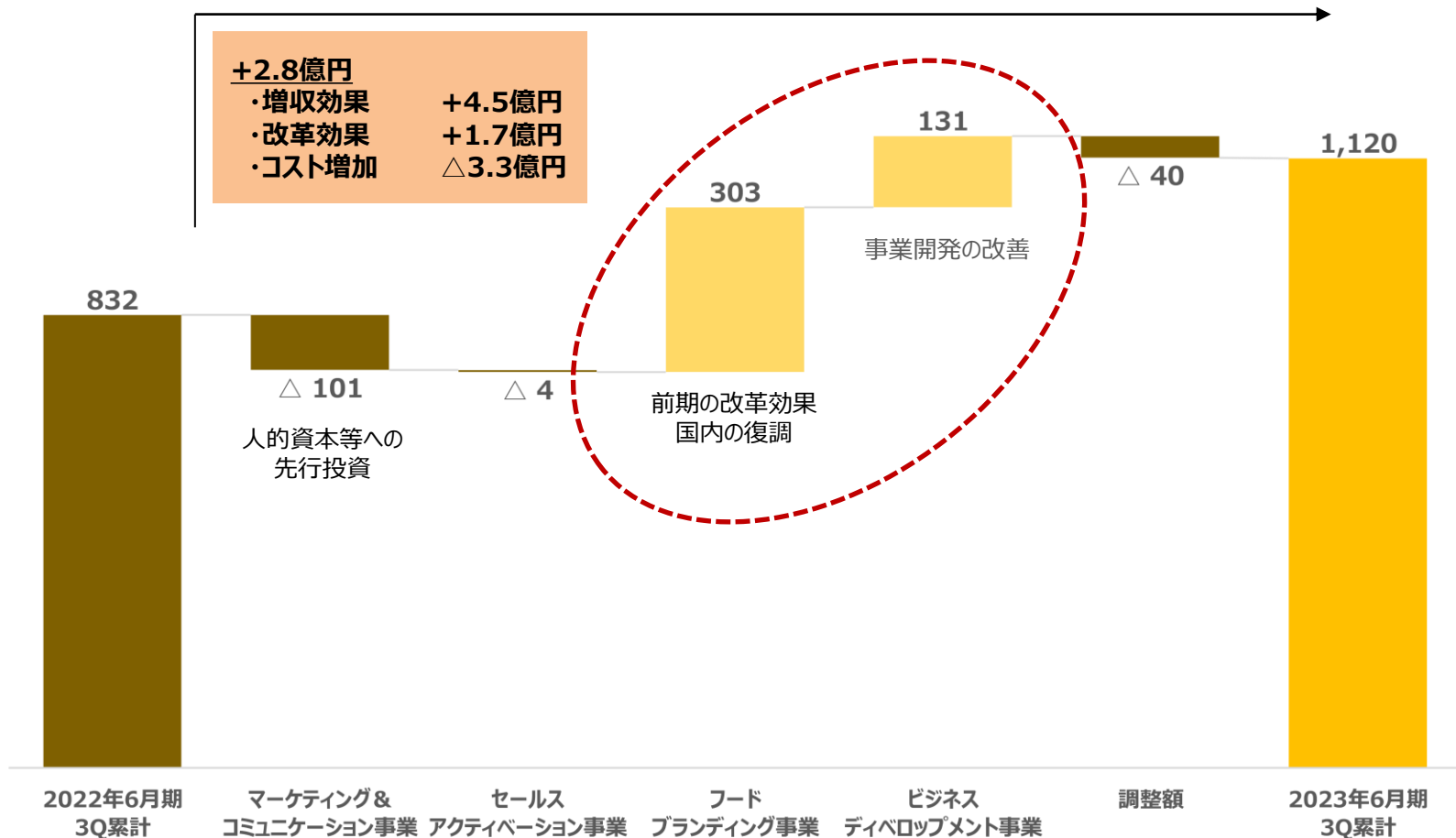
(単位：100万円)

	2022年6月期 通期連結実績	2023年6月期 通期業績予想 (期初公表)	2023年6月期 通期業績予想 (2023/5/15公表)	増減額 (対期初公表値)
売上高	16,190	16,500	17,600	+1,100
営業利益	767	1,000	1,200	+200
経常利益	1,284	1,020	1,230	+210
親会社株主に帰属する 当期純利益	581	640	670	+30
1株当たり年間配当金	12円	13円	15円	+2円

- ✓ 期初公表の通期業績予想を上方修正。想定を上回ったセールスアクティベーション事業の売上高を反映。同時に、人的資本等への投資や来期の企画提案を積み増し。成長加速へ足固め。
- ✓ 配当方針を踏まえつつ、株主還元の更なる充実を図り、配当予想を1株当たり15円へ修正。

2023年6月期第3四半期 営業利益変動要因

(単位：100万円)



2023年6月期第3四半期 セグメント売上高

(2022年7月1日～2023年3月31日)

(単位：100万円)

	2021年6月期 3Q累計	2022年6月期 3Q累計*	2023年6月期 3Q累計	対前年同期 増減率	2021年6月期 通期実績	2022年6月期 通期実績**
① マーケティング& コミュニケーション事業	5,634	5,750	5,645	△1.8%	9,119	7,744
② セールス アクティベーション事業	3,071	4,200	5,836	+39.0%	3,644	5,489
③ フード ブランディング事業	1,843	1,694	2,104	+24.1%	2,355	2,359
④ ビジネス ディベロップメント事業	144	454	421	△7.3%	236	596
合 計	10,694	12,099	14,007	+15.8%	15,356	16,190

* 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しておりますが、3Q累計につきましてはセグメント別の影響額を開示しておりません。

**収益認識会計基準等の適用により、従来の方法と比べて、①マーケティング&コミュニケーション事業の売上高は2,185百万円、②セールスアクティベーション事業の売上高は2百万円、④ビジネスディベロップメント事業の売上高は1百万円それぞれ減少しております。

- ✓ 主要2事業で8割以上の売上を構成。セールスアクティベーション事業は二桁増収、上半期の大幅伸長が寄与。マーケティング&コミュニケーション事業は微減収、一部グループ企業の案件進捗が影響。
- ✓ フードブランディング事業は国内の復調が顕著。3Q単独売上高は前年同期の1.4倍。

2023年6月期第3四半期 セグメント利益

(2022年7月1日～2023年3月31日)

(単位：100万円)

	2021年6月期 3Q累計	2022年6月期 3Q累計	2023年6月期 3Q累計	対前年同期 増減率	2021年6月期 通期実績	2022年6月 期通期実績*
① マーケティング& コミュニケーション事業	927	1,570	1,468	△6.5%	1,284	1,954
② セールス アクティベーション事業	338	312	308	△1.4%	310	344
③ フード ブランディング事業	△201	△252	50	黒字転換	△293	△366
④ ビジネス ディベロップメント事業	65	△84	46	黒字転換	110	△82
調 整 額	△697	△712	△ 753	-	△892	△1,082
合 計	433	832	1,120	+34.6%	519	767

- ✓ マーケティング&コミュニケーション事業が連結利益を支える構造。
3Q累計の減益は一部グループ企業の案件進捗、人的資本等への先行投資が影響。
- ✓ フードブランディング事業は3億円改善。前期の改革に伴う損失解消に加え、国内・韓国の改善幅が拡大。

四半期別業績推移

(2021年6月期第1四半期～2023年6月期第3四半期)

(単位：100万円)

	2021年6月期				2022年6月期*				2023年6月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	2,771	4,427	3,495	4,662	3,444	5,266	3,388	4,090	4,676	6,151	3,179
営業利益 (営業利益率)	14 0.5%	283 6.4%	134 3.9%	85 1.8%	140 4.1%	347 6.6%	345 10.2%	△64 △1.6%	361 7.7%	490 8.0%	268 8.4%
経常利益	△5	357	149	165	213	685	440	△55	404	486	267
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△15	196	144	△26	127	400	263	△211	215	305	153

* 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しており、1Q単独売上高は253百万円、2Q単独売上高は701百万円、3Q単独売上高は503百万円、4Q単独売上高は732百万円それぞれ減少しております。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益への影響はありません。

- ✓ 3Q単独売上高は季節要因から2Q対比で低くなる傾向にあるが、過去2期と比べてやや低調。上半期の好調な業績を背景に、主要事業で来期を見据えた活動に軸足をシフト。スポット案件が減少。
- ✓ 当期における四半期別営業利益率は8%前後で安定的に推移。赤字2事業の黒字転換が寄与。

四半期別セグメント売上高推移

(2021年6月期第1四半期～2023年6月期第3四半期)

(単位：100万円)

	2021年6月期				2022年6月期*				2023年6月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
① マーケティング & コミュニケーション事業	1,281	1,936	2,416	3,485	1,485	2,211	2,052	1,994	1,562	2,198	1,884
② セールス アクティベーション事業	823	1,767	481	572	1,227	2,285	687	1,289	2,316	3,114	405
③ フードブランディング事業	642	683	517	512	526	638	529	664	634	726	743
④ ビジネスディベロップメント事業	23	40	80	91	204	130	119	142	162	112	146
合計	2,771	4,427	3,495	4,662	3,444	5,266	3,388	4,090	4,676	6,151	3,179

* 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しており、1Q単独売上高は253百万円、2Q単独売上高は701百万円、3Q単独売上高は503百万円、4Q単独売上高は732百万円それぞれ減少しております。セグメント別の四半期別影響額は開示しておりません。

四半期別セグメント利益推移

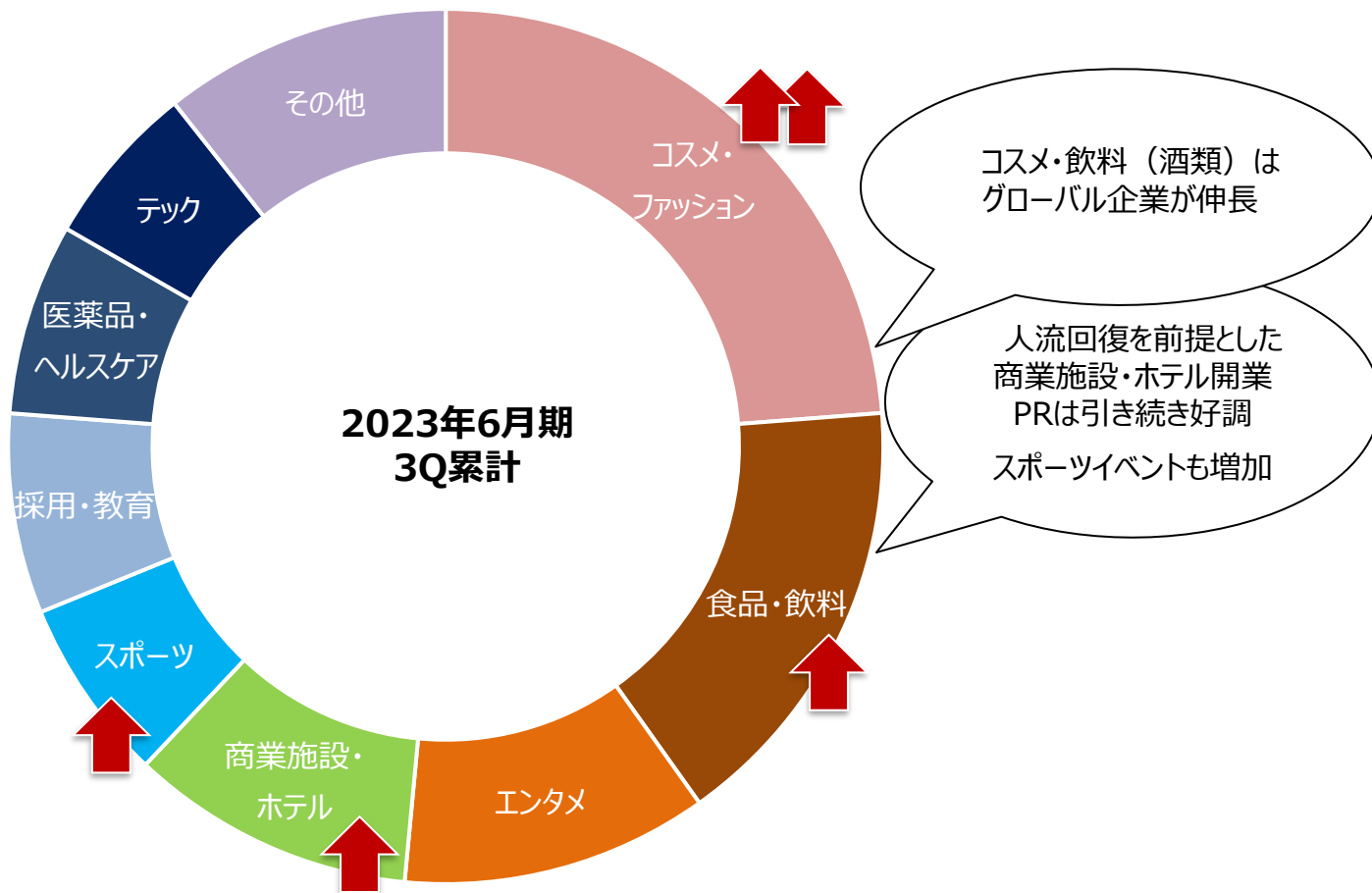
(2021年6月期第1四半期～2023年6月期第3四半期)

(単位：100万円)

	2021年6月期				2022年6月期				2023年6月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
①マーケティング&コミュニケーション事業	177	402	348	356	392	554	623	384	418	489	560
②セールス アクティベーション事業	85	199	54	△28	147	122	43	32	148	176	△15
③フー ド ブランディング事業	△34	△75	△91	△92	△110	△50	△91	△114	△2	21	31
④ビジネス ディベロップメント事業	△3	21	47	45	△43	△38	△2	2	27	△5	24
調整額	△209	△263	△224	△194	△245	△240	△227	△369	△230	△191	△331
合計	14	283	134	85	140	347	345	△64	361	490	268

クライアント業種別売上構成

(マーケティング&コミュニケーション事業)



グローバル・クライアント対応の本格化

コロナからの回復、円安等を背景に
グローバル企業が日本ローンチを検討

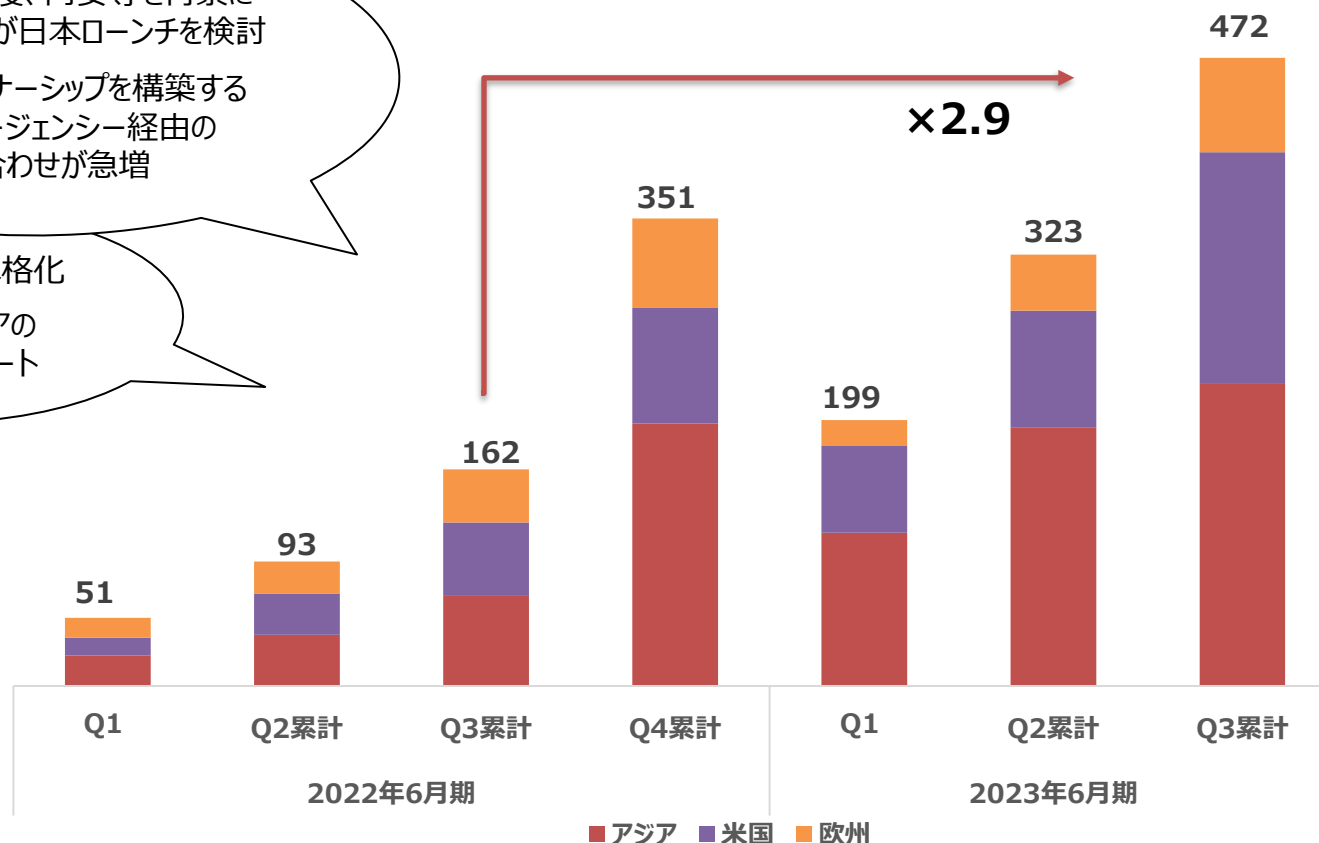
強固なパートナーシップを構築する
海外PRエージェント経由の
問い合わせが急増

対応組織も本格化

オウンドメディアの
英語版もスタート

クライアント拠点別売上高の推移

(金額：100万円)



連結業績推移

(2017年6月期～2022年6月期)

(単位：100万円)

	2017年6月期 通期実績	2018年6月期 通期実績	2019年6月期 通期実績	2020年6月期 通期実績	2021年6月期 通期実績	2022年6月期 通期実績*
売上高	13,891	13,537	14,627	14,094	15,356	16,190
営業利益	387	355	610	420	519	767
経常利益	494	365	718	275	666	1,284
親会社株主に帰属する 当期純利益	304	380	493	△210	298	581
総資産額	5,706	5,327	5,788	5,462	7,163	7,548
純資産額	1,555	1,888	2,397	2,087	2,340	2,820
1株当たり 当期純利益 (円)	41.57	25.85	33.42	△13.97	19.83	38.58
1株当たり 純資産額 (円)	198.20	120.72	153.13	135.17	151.30	178.92

*収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しており、従来の方と比べて、売上高は2,189百万円減少しております。

連結キャッシュフロー推移

(2017年6月期～2022年6月期)

(単位：100万円)

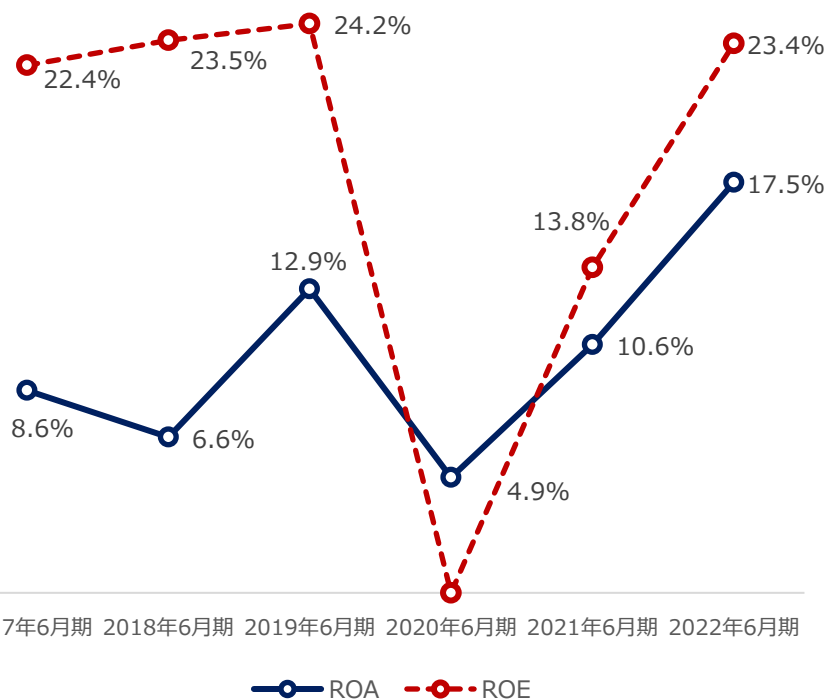
	2017年6月期 通期実績	2018年6月期 通期実績	2019年6月期 通期実績	2020年6月期 通期実績	2021年6月期 通期実績	2022年6月期 通期実績*
営業活動による キャッシュフロー	352	757	529	549	339	1,185
投資活動による キャッシュフロー	△325	738	△336	△685	△311	△274
フリーキャッシュフロー	27	1,495	193	△135	27	910
財務活動による キャッシュフロー	△92	△794	△338	705	423	△294
現金及び現金同等物 の期末残高	995	1,696	1,559	2,135	2,587	3,214
減価償却費 (CF)	127	141	161	143	106	94
設備投資額	291	236	256	28	164	48
現預金	1,011	1,712	1,575	2,151	2,603	3,230
有利子負債 (リース債務含む)	1,716	1,020	720	1,506	1,915	1,722

*収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

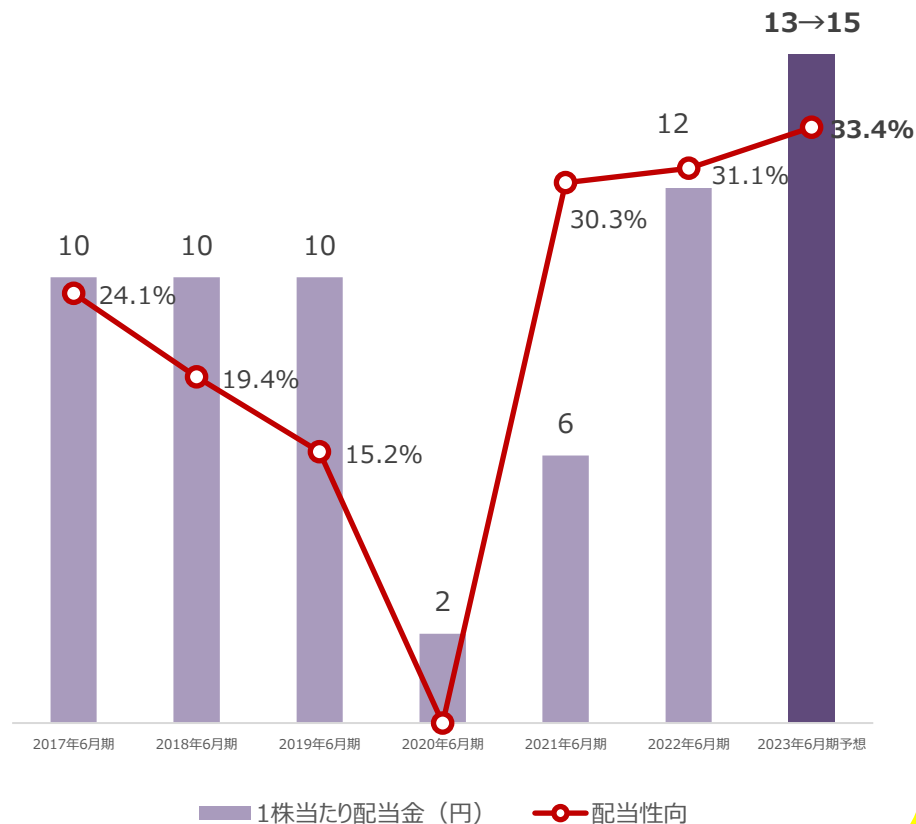
経営効率・株主還元












(2017年6月期～2022年6月期実績、2023年6月期予想)

ROA・ROEの推移



1株当たり配当額・配当性向の推移



セグメント	マーケティング&コミュニケーション事業	セールス アクティベーション事業	フードブランディング 事業*	ビジネス ディベロップメント事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> PRを軸とした各種コミュニケーションサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 店頭における購買・契約促進のための戦略施策の提供 IP（タレントやキャラクター等の知的財産）を活用したセールスプロモーションおよび物販施策 	<ul style="list-style-type: none"> 『bills』のブランディングおよびライセンス 『bills』の海外店舗のプロデュース、ブランディングおよび運営 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の労働集約型・受託型のビジネス領域に留まらない新規事業の開発推進
構成 子会社	    		 	  

*フードブランディング事業において、米国ハワイ州における事業から撤退し、bills Waikiki LLCの当社持分を第三者に譲渡するとともに、SUNNY SIDE UP INTERNATIONAL, INC.の清算手続きを完了しております。

CHANGE THE WORLD.

たのしいさわざで、世界を変える。

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ・本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、事業環境の変化等の様々な要因により、記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社サニーサイドアップグループ コーポレート本部 経営管理部経営企画グループ

TEL : 03-6894-2241 mail : keiki@ssu.co.jp